

# はちのへ 市議会だより

平成16年6月定例会

No.44

編集と発行・八戸市議会

八戸市内丸1丁目1-1 ☎43-2111 内407 2004年(平成16年)7月15日発行



是川中居遺跡（水さらし場遺構）の発掘調査

平成16年6月定例会は、6月8日から6月21日まで、14日間の会期で開かれ、平成16年度一般会計補正予算など市長提出議案27件、議員提出議案4件を可決して閉会しました。

# 市政に対する 一般質問

市町村合併や財政、観光行政、環境行政、教育行政など、128項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、要旨を掲載しました。

質問した議員（質問順）

- ・松橋 知
- ・寺地 則行
- ・五戸 定博
- ・上条 幸哉
- ・豊田 美好
- ・石橋 充志
- ・坂本 真将
- ・山名 文世
- ・松浦 隆宏
- ・三浦 敬一
- ・畠山 哲雄
- ・畑中 雄

## 次世代育成支援行動計画 の策定スケジュールは

社民党・市民連合

【問い】 次世代育成支援行動計画の策定に当たり、そのスケジュールは。

【答え】 この計画は、従来の子育て支援から、健康や福祉など、幅広い分野にわたることから、全庁的に取り組むため、関係課で組織する庁内検討委員会を設置した。

さらに、知識経験者などで組織する策定委員会を設置し、専門的立場から、幅広い意見を取り入れていく。

この計画策定作業の中で、ニーズ調査の内容を検討し、また、一般市民から公募した委員の策定委

員会参加により、住民の意見を反映させたい。

今後、策定委員会を五回ほど開催し、今年中には計画を策定する予定である。

## 校庭芝生化の 今後の取り組みは

新政・新風クラブ

【問い】 学校校庭芝生化の今後の取り組みは。

【答え】 今回、市のモデルケースとして江陽小学校の校庭芝生化事業を実施した。

今後、同校における児童の利用状況や教育的効果、PTAや地域の協力体制、維持管理の経費、環境面への影響など、さまざまな角

度から研究していく。

その研究成果を踏まえ、事業推進への地域の協力体制や維持管理経費について、PTAや地域住民の方々の理解を得ながら、順次、事業を推進していきたい。

## 日曜朝市循環バスの運行を

新政・新風クラブ

【問い】 中心市街地と湊地区の朝市会場を結ぶ低料金の日曜朝市循環バスを運行する考えは。

【答え】 東北新幹線八戸開業を契機に、旅行エージェントが、朝市に立ち寄る旅行商品を企画・販売しており、観光客からも好評を得ているので、引き続き、朝市のPRを図っていききたい。

低料金の日曜朝市循環バスの運行は、観光客の利便性が増し、さらなる誘客が期待できる。今後、朝市関係者や観光事業者など、幅広い方々の参加を得ながら協議・検討していく。

## はやてに自由席設置を

市民政友会

【問い】 東北新幹線「はやて」の自由席設置を、JR東日本に対して働きかけるべきでは。

【答え】 東北新幹線「はやて」への全席指定の導入は、長距離になるに従い、事前に目的地までの座席を確保し、安心して旅行をしたというお客様への指定席志向のニーズに対応したものとJR東日本から聞いている。



日曜朝市

市としては、市民の間に自由席設置のニーズがあるということ、JR東日本に伝えていきたい。

## 中心市街地活性化の 今後の対応は

市民政友会

【問い】 中心市街地活性化に対する今後の対応は。

【答え】 市では、五月に都心地区活性化プロジェクトを立ち上げたところである。

これは、都心地区再生に向け、にぎわい拠点の創出や都心地区の居住などをテーマに都心機能の高度化について調査・検討するものである。

国も、都市の活性化を積極的にバックアップする体制であり、この支援策の活用も検討している。

これに加え、国の地域再生構想の二次募集に向け、中心市街地活性化に係る分野も庁内で検討されており、国の補助金の一般財源化や規制緩和なども絡め、提案していきたい。

今後とも、市民や関係機関と連携し、まちににぎわいを取り戻すことを最優先に、中心市街地活性化に取り組んでいく。



### 三歳以上児補助金の 廃止への対応は

#### 新政・新風クラブ

【問い】 県が保育所および認可外保育所での三歳以上児補助金を来年度から廃止することに当たり、市の対応は。

【答え】 県は、平成九年度より第三子以降の保育料に対する軽減事業を開始しているが、財政改革プランに伴う事務事業総点検・見直しにより、平成十七年度に廃止が検討されると聞いている。

県には、負担の転嫁がされないように、住民に十分な説明や周知する期間を配慮するよう要望している。

基本的には、県事業が見直しされれば、市としても検討しなければならぬ。



根城保育所で遊ぶ子どもたち

### 新成人を思いやる 式典の開始時刻を

#### 市民政友会

【問い】 主役である新成人のために、成人式の開始時刻を変更する考えは。

【答え】 当市の成人式は、ボランテニアの負担軽減と会場周辺の交通状況を配慮し、午前中に開催してきた。

午後には開催することは、新成人が時間的余裕をもって出席できること、悪天候に対する交通対策が十分にできることなどのメリットがあることも事実である。

開始時刻については、それぞれ一長一短があり、他都市の実施状況も同様ではないので、当市に適合しているやり方を検討していく。

### 心身障害者医療費制度 見直しへの対応は

#### 社民党・市民連合

【問い】 県の心身障害者医療費制度見直しにかかわらず、市は現制度を継続すべきでは。また、制度見直しに当たり、障害者団体などの意見を聴取したのか。

【答え】 市財政健全化計画で国・

県の定める補助基準を超えるサービスは見直しを行っている。

他の障害者福祉サービス事業との均衡性・整合性から、利用者に応分の負担を求めるともやむを得ないと考えている。

また、県単独医療費助成制度検討委員会には、障害者団体の関係者が委員に含まれていなかったが、障害者団体からも意見聴取したと県から聞いている。

市としては、円滑に実施するため、広報への掲載、窓口でのPR、障害者団体などへの説明により、周知徹底を図り、対象者への情報提供に努める。



成人式（平成16年）

### 大型店出店問題の 今後の対応は

#### 日本共産党議員団

【問い】 田向土地区画整理事業区

域内における大型店出店問題の今後の対応は。

【答え】 大規模小売店舗立地法では、大規模商業施設の設置に当たり、駐車場や騒音など、周辺地域の生活環境へ及ぼす影響をチェックすることとなっている。

田向土地区画整理事業は、事業計画において、市民病院を核として医療・福祉施設などの誘致を図っていく高度医療拠点地区の形成を目的としている。

現時点では判断できないが、大型店の立地構想が周辺の環境に大きく影響を与えるようなものであれば、好ましくないと考えている。

地権者の意向、換地設計・事業計画の見直しなど、区画整理事業上も多くの問題があるので、組合に対しては慎重に対応するよう申し入れていく。

### 協働のまちづくり事業への 市の対応は

#### 新政・新風クラブ

【問い】（仮称）協働のまちづくり基本条例案素案の特色は。また、地域コミュニティ振興指針・市民活動促進指針の概要と今後の見通しは。



協働のまちづくり市民会議

【答え】 条例案素案は、住民自治実現のための基本となる、市民と行政との協働を市政運営の基本原則とし、協働を進めるための方向性や手法を規定するもので、市民と市の相互理解の基礎となる情報共有の原則などの特色があり、市民ニーズに即した政策、事業を行うための政策提案制度や市民の自主的な活動を促進し、地域コミュニティの自治の仕組みづくりに努めることも盛り込まれている。

地域コミュニティ振興指針では、地域の様々な主体の役割や機能および行政と地域の関係の見直しを想定しており、また、市民活動促進指針では、市民活動団体への支援と協働について、基金の設置など具体的な施策を盛り込むことが検討されている。

これら二つの指針は、今年度中の策定を予定している。

## 軽度発達障害への対応は

### 公明党

【問い】 軽度発達障害の相談窓口設置と児童生徒数の把握は。

【答え】 今年度、市教育委員会では、発達障害の相談窓口について、市の就学指導委員会の中に、専門家委員会を設置し、相談に対応することとした。

相談場所は、市の総合教育センターと当該児童生徒が在籍する学校で行う。

また、障害診断は、従来の児童相談所に加え、市教育委員会が窓口となり、関係学校などと連携しながら対応していく。

市内の実態については、通常学級に在籍し、特別な支援を要する



総合教育センター

児童・生徒数を五月に調査した結果、学校が教育相談を望んだ児童生徒は、小学校で約三・八パーセント、中学校では約一・パーセントであったが、中学校においては、不登校の原因の一つに発達障害も考えられ、もう少し多いと思われる。

### 新たな合併協議会を

#### 住民投票で

#### 日本共産党議員団

【問い】 新たな合併協議会の設置と枠組みに対し、住民投票により市民の意向を把握する考えは。

【答え】 市では、今回の解散に至った経緯や、その後の取組み状況などを広報に随時掲載し、市の考えを知らせるとともに、合併に関する情報を市民に提供したい。

また、市のホームページにも、合併のコーナーを新設し、その中で市民の意見を募集したい。

さらに、新たな合併協議会の設置に当たっては、説明会の開催も予定しており、これらを通し、市の姿勢への理解と、市民の意向を把握していきたいと考えていることから、住民投票の実施は現時点では考えていない。

## 意見書

議員提出議案として、次の意見書を可決し、関係省庁へ提出しました。

- 地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 寒冷地手当見直しに関する意見書
- 道路整備の推進に関する意見書

## 請願・審査陳情の結果

### 取り下げとなったもの

- ▽ 「老人いこいの家」の無料入浴事業に関する陳情
- 継続して審査するもの
- ▽ 教育基本法の改定ではなく、その理念の実現を求める陳情
- ▽ 緊急地域雇用創出特別交付金事業の継続・改善を求める陳情
- ▽ パートタイム労働者の均等待遇の法制化に関する陳情
- ▽ 就労准看護師が看護師になるための「2年課程通信制」の整備に関する陳情
- ▽ 認可外保育園の保育料を消費税の課税対象外とすることを求める陳情

## 議員表彰

長年にわたり市政の振興に貢献のあった次の議員が、表彰を受けました。

全国市議会議長会  
市議会議員二十五年以上在職

小笠原 要七氏

## 本会議を傍聴しましょう

本会議は、住所と名前を書くだけで傍聴することができます。車いすを利用されている方は、本館三階議会でテレビ視聴できます。

また、本会議の様様を、ケーブルテレビ（八戸テレビ）で放映しております。

六月定例会では、四十九人の傍聴者がありました。

本会議の記録は、図書館、市政情報コーナー、インターネットで見ることができます。



六月定例会の会議録は、九月に発行の予定です。

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。